

お祭り気分さかーい

2021
(令和3年)
11月1日
No.57



★世界旅行気分が味わえる!★

旅する料理教室

キッチンのお台所



 南伊勢町議会だより

主な内容

9月定例会	P 2
一般質問	P 4
さかい志援シター	P14
委員会活動報告	P15
みんなで作ってるで〜ほか	P16

重点事業と注目ポイント

9月7日から10日までの日程で、令和3年第3回南伊勢町議会定例会が開催され、補正予算案5件、条例案5件、教育に関する請願4件、その他議案5件、更に、工事請負変更案件、同意案件、承認案件、発委案件、報告案件など7件が提案され、全て原案の通り可決・承認されました。また、令和2年度決算認定8件については、各常任委員会に付託され、みなみいせ商会経営報告を含め報告案件が3件ありました。

一般質問では、9名が質問を行いました。

議案第63号 令和3年度南伊勢町一般会計補正予算（第4号）

現 地バス停協議視察

（阿曾浦弁天・赤崎集会場）



大型バスが乗り入れられない道路狭隘地区の公共交通サービス導入を目指すと共に、スクールバス・路線バスの統合、高齢者と小中学生の混乗や、定時定路線運行の見直しも視野に入れ、地域住民の利便性を向上させることが目的です。

町営バス「阿曾浦く大方竈の延伸」

実証実験事業

302万円

議案第63号 令和3年度南伊勢町一般会計補正予算（第4号）

皆 さんのご要望に応じて



新型コロナウイルス感染症の影響により、低迷する消費を喚起し、その影響を受けている事業者等への支援策として、プレミアム付き商品券を発行します。

プレミアム商品券

発行事業

4404万円

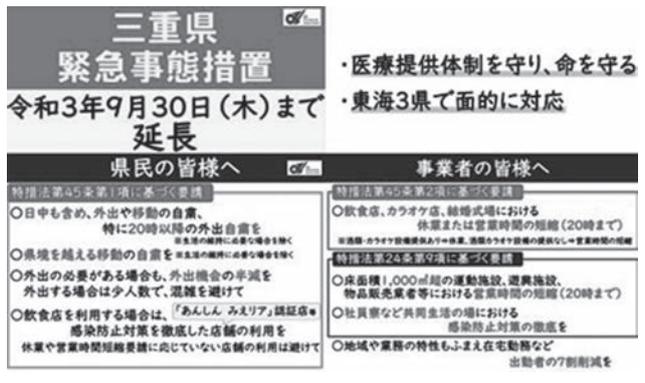
6千円分を3千円で販売

環境整備の充実を目指して



南島中学校のトイレ洋式化を進めます。具体的には、女子トイレ1〜3階に洋式各2基と、男子トイレ2・3階に小便秘器各2基、洋式各1基の改装を実施します。

**南島中学校
維持補修工事業
1381万円**



緊急事態宣言による外出移動自粛要請等に
伴い、観光客が大幅に減少したことにより、
特に影響を受けている事業者に対し支援金を
給付します。

**南伊勢町外出・移動自粛要請等
影響事業者支援金事業
1840万円**

**令和二年度
決算認定を
委員会へ付託**

決算内容をより深く専門的に質疑・討論し結論を出すために、各常任委員会に別れ審査を行います。12月開催予定の第4回定例会にて、各委員長より報告が行われ採決されます。

- ▼ 令和2年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町水道事業会計決算
- ▼ 令和2年度南伊勢町病院事業会計決算



一般質問

議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、議員が自分自身の考えや町民の声をもとに、町長に行政の執行状況や将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
舌古傳夫	① 町の環境について	5
手塚征男	① 町長の残された任期中の課題について ② 補聴器購入補助金制度について ③ ジェンダー問題について	6
岡田和夫	① バイオマスと亜臨海水処理を使ったゴミ処理施設について ② 「みなみいせ商会」の今後について ③ コロナ感染症対策について ④ 高齢者の地域包括支援体制をどう考えるのか	7
田中喜一郎	① バイオマス産業都市構想関連について ② 二次避難所・緊急避難所関連について ③ 伝統漁法の継承について ④ 包括連携に関する協定について ⑤ 廃校利活用について	8
西則孝	① 事前復興計画について ② バイオマス産業都市構想について	9
岡本眞	① 町長が12年間でとり組んだ事業について ② 産業の活性化について	10
掛橋靖	① 大雨洪水災害から命と財産を守る対策は ② 町民生活の足となっている公共交通機関の現状と今後をどう考える	11
松葉和久	① 南伊勢町内での繁殖牛の飼育等や生産計画について	12
倉田育	① 安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するための町政について ② 大規模改修・高台移転・統廃合事業の残された課題と新たな課題について	13

一般質問の質問事項・内容は、広報委員会で会議録に基づいて編集し、要約しています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 0599-66-1781)



舌古 傳夫 議員

通学路の改善は

教育長

進めている

Q

当町は東西に延びる国道260号が約56キロあるが、国の要請で、通学路で危険なところがないのか、改善された場所はあるのか。

A

教育長 7月29日付で「通学路における合同点検の実施について」の依頼があり、合同点検等報告要領に準じて進めている。具体的には国道260号の船越地区の狭い

道路や県道伊勢南勢線の切原通学路での法面対策工事

の早期着手、各地区通学路の側溝整備、東宮隧道の修繕や横断歩道などの路面表示の塗装などが報告されている。

また、以前より、通学路安全推進会議により要望活動をを行い、信号機の設置や

路面表示、側溝などの整備を進めてきた。

最近では、船越地区の通学路で、センターラインのない道路における車道と歩道を明確にするグリーンベルトの表示、通学路であることが分かる路面表示や標識を設置した。



安全運転 よろしく～

直通バスは

町長 一部が運行されている

Q

乗り換えが大変なので、当町から伊勢市の総合病院に向けての直通往復マイクロバス等を考えたかどうか。

A

町長 現在、公共交通を使つて移動する方法としては、三重交通(株)が運行している広域基幹バスの4路線がある。その中で宿田曾地区と南島地区からの路線バスの一部が伊勢市の総合病院まで乗換えなく運行されている。他の路線については、路線の延伸や乗入れ時間の改善など要望をしていく。



町立病院のループバス

補助制度は

町長 検討していく



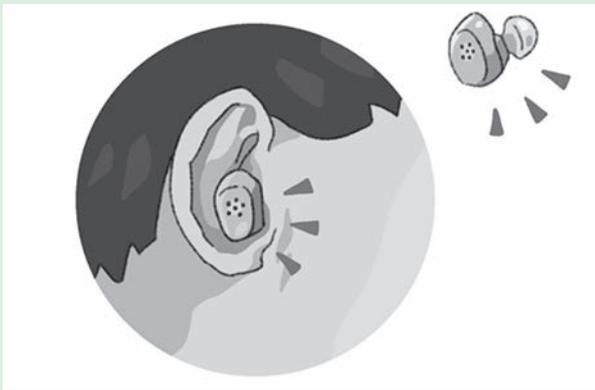
手塚 征男 議員

Q

補聴器購入の補助金制度問題では、県と国へ町村会から要望したのか。また、町独自の補助制度を町長の任期中にするのか。

A

町長 三重県町村会から7月に知事に要望した。身体障害者手帳の交付対象とならない高齢者向け補聴器購入助成制度を直接補助で実施している都道府県はなく、助成制度を新設することは難しいとの回答であった。また、県内においても助成を実施しているところはない。今後、国や県への要望を重ねながら検討していく。



要望を重ねながら

女性用トイレは

町長 提案、協議していく



新しい消防団詰所

Q

生理用品は公的な施設では女性トイレに置かれているが、必要な施設に設置するべきでは。また、消防団詰所のトイレは女性団員が増えてきている中、詰所の建て替えて、順次整備する方向にならなかったのか。

A

町長 小中学校においては保健室に設置しており、必要な方が自由に利用可能。公共施設においては、衛生面に配慮し、施設管理者と協議を進める。相賀浦地区の消防団詰所移転工事では、詰所のスペースや分担金の増加も考慮し、男女兼用の洋式トイレになった。今後、女性用トイレの設置については地区に提案し、協議していく。



岡田和夫 議員

ゴミ処理施設は

町長 実現して頂きたい

Q

町長はバイオマスと亜臨界水処理を使ったゴミ処理施設を目指してきたが、これを次期町長に引き継いでほしいと考えるのか。

A

町長 クリーンセクターなんとうの焼却炉は23年が経過し、経年劣化による老朽化のため、早期の基幹改良工事が必要である。毎年4千万円を超える修繕工事を実施し、いづれ修繕では対応が困難な状態となる。

町長 環境面からも財政面からもメリットが大きく、また、脱炭素社会の実現という時代の要請からも、焼却処理よりバイオマス活用事業を進めることが町民にとって、よりメリットがある。次の町長には、ぜひバイオマス活用事業を引き継いで実現して頂きたい。



経年劣化中、...

みなみいせ商会へは

町長 支援を継続

Q

町長は町の産業活性化を目的に第3セクター「みなみいせ商会」を立ち上げた。退任までの残る期間に、どのように、この商会に対処していくのか。

A

町長 みなみいせ商会は、町内の雇用創出や経済拡大、新たな事業の創出などを事業目的として設立し、まずは水産加工事業により収益を確保することから始められた。結果として計画した収益を上げられず厳しい経営状況が続いているので、今後も安定経営へ改善できるよう、助言や提案などの支援を継続する。



買って下さいね

伝統漁法の継承は

町長 確保が必要



田中喜一郎 議員

Q 伝統漁法の継承や今後の町内漁業者の育成、漁業の考えは。

A 町長 当町では、古くから定置網・刺し網・一本釣りなどの沿岸漁業が営まれており、このような沿岸漁業を今後も継承していくために、漁業従事者の確保が必要である。

漁業従事者の確保対策として、町内の定置網漁船を運営する水産会社で「漁師塾」という漁業短期研修を開催する方向で進めていく。



大漁祈願

廃校利活用は

町長 有効利用している

Q 学校統廃合後のグラウンドを含めた旧学校施設の利活用の状況は。

A 町長 現在、4つの旧学校施設を、風水害の二次避難所に指定しており、また旧南島西中学校は震災・津波の二次避難所にも指定している。貯水タンク及びマンホールトイレを整備し、吉津・島津

地区の災害用防災用品備蓄施設として、グラウンドは、統合保育園と介護施設に利用している。また、旧南海小学校は民間事業所に貸付け、水産加工施設として、体育館は役場の備品保管庫として有効利用している。



マンホールトイレに



西 則孝 議員

事前復興計画は

町長 取り組んでいく

Q

災害が発生した時のことを想定し、どのような被害が出ても対応できるように、当町の復興等の事前の計画についての考えは。

A

町長 防災・減災対策と並行して、事前に被災後の復興まちづくりを考えながら、準備しておく復興事前準備の取組を進めていくことが重要。事前復興準備として取り組んだものとして、さくら

保育園、南島メデイカルセンター、町立南伊勢病院、特別養護老人ホーム真砂寮と紀勢広域消防南島分署等の高台移転がある。課題を整理し、専門家の支援を得て事前復興の計画に取り組んでいく。



事前に高台移転

バイオマス産業都市構想は 町長 資源循環が実現

Q

ゴミ処理方法について、従来のストーカ式処理と違いバイオマス亜臨海水処理方式と当町の進むべきバイオマス産業都市構想の方向性は。

A

町長 ゼロカーボンをシテイを表明し、計画的な資源活用、再生可能エネルギー普及促進など、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めている。亜



ブラックペレットです

臨海水処理方式と比較すると二酸化炭素もダイオキシン類の発生もない環境にやさしい処理方式である。この亜臨海水処理物を半炭化処理し、ブラックペレットという固形燃料となる。家庭から出るごみを再生可能エネルギー燃料として資源循環が実現できる。

課題と展望は

町長 支援を継続



岡本 眞 議員



地域のために

Q みなみいせ商会のこれまでの振り返りと、町長として考える課題と、今後の展望は。

A **町長** 町内の雇用創出や経済拡大、新たな事業の創出などを事業目的として、水産加工事業所で収益を確保することから始めた。

結果として、みなみいせ商会は計画した収益を上げていない状況である。今後も安定経営へ改善できよう、助言や提案などの支援を継続する。

事業成果は

町長 拡大が確認



大切な海を後世に繋ぐ

Q 自然環境の変化が大きく阻害しているが、町長在任期間中にどのような事をし、その成果は。

A **町長** 環境・生態系保全活動支援事業を活用し、アラメの種苗投入、ムラサキウニ等の食害生物の駆除を実施し、種苗センターにて水産多面的機能発揮対策事業と合わせて藻場再生事業を行っている。各地区で少しづつではあるが、ヒジキ場の拡大が確認されている。



掛橋 靖 議員

土砂災害対策は

町長 人命を守るため

Q

全国各地で発生している水害及び、土砂災害の要因分析をもとに、急峻な山々や多くの河川に面している、当町の土砂災害対策は万全か。

A

町長 土砂災害については、山地の荒廃等も起因と考えられるが、特に気候変動に伴う豪雨の激甚化、集中豪雨の増加に同調するように、全国的に土石流、洪水氾濫の発生件数が増加傾向にあり、三重県とともに対策に取り組んでいる。

今後も危険箇所の見直しや、警戒区域の周知等を行い、ハード対策ソフト対策両面から土砂災害から人命を守るため、被害の軽減に努めていきたい。



災害の起こる前に

公共交通機関の見直しは

町長 便利で利用しやすく

Q

少子高齢化が進み、新たな生活様式が求められる中、生活の基盤となる公共交通機関の見直しと構築が急務と考えるが、

A

町長 令和3年3月に、今後の地域における公共交通を見直し、方向性とその進め方を明確にし、便利で利用しやすくしていくための計画として「南伊勢町地域公共交通計画」を策定した。計画では、高齢者や高校生、小中学生、また観光客への利用に重点をおき、安心・快適・魅力的な「おでかけ」を支える地域公共交通への転換を目指す。



快適なおでかけを

飼育環境は

町長 自然の中で



松葉和久 議員

Q

繁殖牛の生産が耕作放棄地で始められたが、現在の繁殖牛の飼育環境は。

また、初年度の繁殖牛の餌代や病気になったときの治療費は、行政が支払いますが、2年目以降についての考えは。

A

町長 牛は自然環境に適應する能力

を持つているが、極端に過酷な環境を避けるため、簡易な屋根付きの柵場や給水設備、日陰施設を設置している。導入当初は、生えている草を全く食べようとしなかったため、飼料を徐々に減らしながら野草を食べるように仕向けたところ、現在では、飼料なしでも十分野草を食べるようになった。

また、治療費など飼育に必要な経費等については、2年目以降は地域おこし協力隊の活動補助金を活用しながら2年目以降の子牛を生産及び育成し、子牛の販売代金を収入源とするとともに、協力隊終了時の南伊勢町地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金や就農についての農業次世代人材投資資金も活用して経営を開始することとしている。



むしゃむしゃ伸び伸び



倉田 育 議員

劣悪な状況が

町長 早期に対応を

Q

町内の国道260号や県・町道にある道路標識の劣化が目立つ。安心安全をうたう当町でなぜこのような劣悪な状況が続いているのか、今後の対応は。

A

町長 規制標識等の劣化が進行している状況は、防災安全課でも町内の現場を確認し、管理者である伊勢警察署と修繕対応に対する協議を行っている。

今後の対応は、伊勢警察署との連携を一層進め、協議・調整を行いながら、劣化が進んでいる道路標識の修繕・更新を早期に対応していただくよう働きかけていく。



制限速度何キロ？

各廃校舎の利活用は

町長 地域と利用の検討を

Q

高台移転・統廃合事業の各終着点は、既存の旧施設をどうするかを決定するまでだと考えるが、小中学校の各廃校舎の利活用の考えは。

A

町長 小中学校の各廃校舎の利活用は、風水害や震災・津波の二次避難所として利用する。

平常時の利用として、学校統廃合時に、各地域において学校跡地検討委員会を立ち上げ、地域と利用方法の検討を重ねてきた。現在、旧学校施設は災害用防災用品備蓄施設や水産加工施設、また、認知症カフェなどに利用されている。



備蓄倉庫に活用



ぎかい応援レター



ぎかい



40代男性

気持ちがすっきりした
 コロナワクチン接種の予約受付で、分からないことがあったから電話で問い合わせた。忙しくて大変だと思うが、あまりにも窓口の対応が素っ気なくて腹が立った。地元の議員に不満をぶちまけたが、逆に担当課が休日もなく残業続きでも、県下でトップクラスのワクチン接種の実績を勝ち取っている実情を聞いた。少しぐらいポタンの掛け違いは受入れて欲しいとのことだった。感謝です。

ごめん！しらんだわ...
 たまに倉庫で仕事しているのを見ると、必ず声をかけるんさ。この前、「あんたら議員は、年金があるから辞めてからも楽しみやな」って、ほしたら「何言うとんの！10年も前に廃止になっとるよ！」との返事。安い報酬やのに自分の仕事もほったらかして、議会へ行く姿を見るたびに、自分らもなんかできることをせなあかんと思う。みんなで頑張ろや！



70代女性



60代女性

ブンブンとバイクがうるさい
 コロナ禍だけど、休日になると、ツーリングを楽しむバイクがすごく多くなった。ただ、運転マナーが悪いライダーもいて、猛スピードで集落内を走り抜けたり追い越し運転をしたり…道路沿いの住民は騒音にも困ってる。事故が起きないか心配だし、看板立てたりなんとかしてほしい。



minamiise

あなたもつぶやきませんか？
 どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを200字程度でつぶやいて、ハガキかFAXで送ってくださいね。
 〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

◆ 常任委員会・特別委員会 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりになどについて調査や審査を担当しています。

活動報告

◆6月23日

協議事項

防災安全課所管

● 防災・安全について
南伊勢町地域強靱化計画や避難所運営マニュアルの内容・主旨について協議しました。



◆7月21日

調査事項

上下水道課所管

● 上下水道問題について

山間部にある配水池の安全性や現状等、現地視察も行い調査しました。

◆8月18日

調査事項

防災安全課所管

● 防災訓練の日程・内容について

熱中症予防対策や、例年真夏に予定の日程・内容について、見直しの必要性を調査・協議しました。

協議事項

● 行政課題と関係企業等への質疑・回答、意見交換について

等、調査・協議しました。

教育民生常任委員会

教育・子育て福祉・医療・生活環境衛生・町税・国民健康保険・介護保険などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆6月21日

調査事項

税務住民課所管

● マイナンバーカードについて

等、調査しました。



◆8月18日

協議事項

● 教育関係者からの4件の
請願について

● コロナ禍による地方税財源の充実を求める意見書(案)について

等、協議しました。



◆7月19日

調査事項

子育て・福祉課所管

● ワクチン接種について
等、調査しました。



みんなでやっとならで～

旅する料理教室「マルコの台所」

- 毎月第2火曜日に町民文化会館調理室で、旅する料理教室「マルコの台所」を開催しています。南伊勢町地域おこし協力隊として活躍中の丸尾さんが講師となり、南伊勢町の食材を使いながら、料理を通じて外国の味に触れて楽しい時間を過ごしています。
- 海外や日本各地を旅してきた講師の丸尾さんが、旅の体験談とともに、テーマに沿って色んな地域の料理を紹介する料理教室です。受講者さんには「旅をした気分を味わいながら、新たなレパートリーを増やすことができる」と喜んでいただいています。これまでにタイ・南インド・エジプトの料理を作りました。スパイスを使った料理が最高です！



議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

12月
議会

12月7日～12月13日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

編集後記

いまだ猛威を振るう新型コロナウイルス感染症。町内のワクチン接種率は県下でも高く、都内と比べ感染者数は抑えられています。しかし、油断はできません。ワクチン接種も感染対策も、大人が頑張ることで子供を守るという考え方が大切な時期なのかもしれません。議会・行政・町民の皆様と互いに協力し合いながら、コロナ禍を忍耐強く乗り越え、明るい将来が開けることを願うばかりです。

さて、9月定例会は、7月臨時議会にて議長へ就任された東伊久雄議長の進行によって執り行われました。転換期を迎える行政には、引き続き多岐にわたる山積した町の課題を解決するため誠心誠意取り組んでいただき、議会も共により良い町づくりを目指していきます。

議長 東伊久雄
議会広報特別委員会

委員長 森源久
副委員長 古傳夫
委員 掛舌 田村 健志
河橋 育
倉田

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

TEL 0569(99)1781
FAX 0569(99)2164